

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	愛媛
-------	----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	大洲市立大洲南中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3		9	22
生徒数	92	111	91		294	

研究の概要

1 研究主題

生徒が自ら学び考える学習指導の在り方

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・全学年・全教科

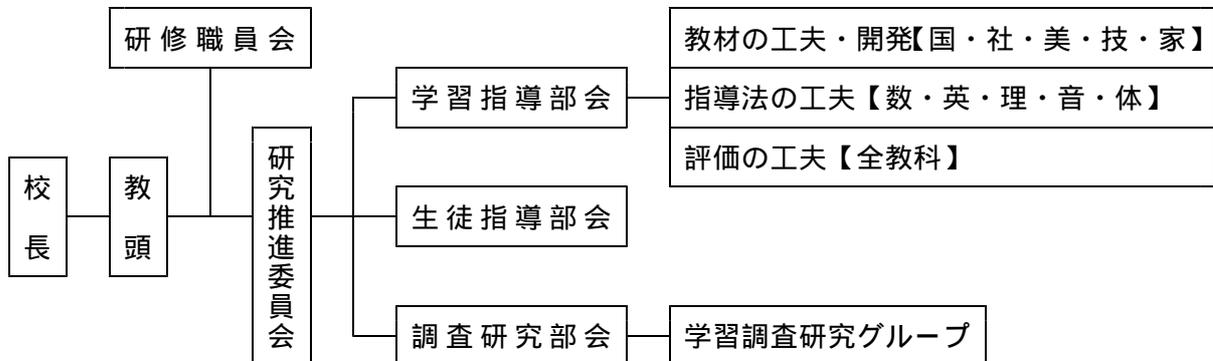
実施学年や教科の枠にとらわれるのではなく、全教員が意識を統一して研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 生徒が自ら学び考える学習指導の在り方 研究の見通し(仮説)</p> <p>(1) 生徒一人一人の習熟の程度に応じることのできる学習材の工夫開発をすれば、生徒は学ぶ喜びや楽しみを味わい、学習に主体的・意欲的に取り組み始めるであろう。</p> <p>(2) 少人数指導の長所を生かすことのできる学習形態や指導法を工夫開発すれば、生徒は基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、自ら学び考えようとする意欲を持って学習に取り組むであろう。</p> <p>(3) 評価の観点や規準、評価の手立てや実施時期等を明確にして実践し、指導と評価の一体化を図れば、生徒一人一人の適性や学習の実態に応じた学習が創造できるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 補充的な学習について</p> <p>ア 朝学習での実践 朝学習を実施することにより、生徒一人一人に基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、落ち着いて学習に取り組む習慣を身に付けさせる</p> <p>イ 選択教科での実践 基礎的・基本的な内容の徹底のために、厳選された必修教科の学習内容を補充する学習として位置付け、充実させていく。</p> <p>ウ 補充的な学習での実践 3年生の進路保障のために、12月から週に2回(火曜日と金曜日)補充的な学習を行う。</p> <p>(2) 確かな学力を身に付けさせるための授業実践</p> <p>ア 「学習の手引き」の作成 生徒が学習のめあてや身に付けるべき力を意識し、学習の見通しを持って取り組み、学習を進めることができるようにするために、単元の学習の流れが分かる「学習の手引き」をそれぞれの教科で作成する。</p> <p>イ 教材の工夫・開発 各教科で、生徒一人一人の習熟の程度に応じることのできる学習材の工夫開発を進めていく。</p> <p>ウ 指導法の工夫 少人数指導の長所を生かすことのできる学習形態や指導法の工夫開発、各教科で、自ら学び考えようとする意欲を持って学習に取り組む指導法の研究を進める。</p> <p>エ 評価の工夫 評価の観点や規準、評価の手立てや実施時期等を明確にして実践していく。</p>
--------	---

平成 16 年 度	<p>テーマ 生徒が自ら学び考える学習指導の在り方 研究の見通し</p> <p>(1) 生徒一人一人の習熟の程度に応じることのできる学習材の工夫開発をすれば、生徒は学ぶ喜びや楽しみを味わい、学習に主体的・意欲的に取り組み始めるであろう。</p> <p>(2) 少人数指導の長所を生かすことのできる学習形態や指導法を工夫開発すれば、生徒は基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、自ら学び考えようとする意欲を持って学習に取り組むであろう。</p> <p>(3) 評価の観点や規準、評価の手立てや実施時期等を明確にして実践し、指導と評価の一体化を図れば、生徒一人一人の適性や学習の実態に応じた学習が創造できるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 補充的な学習について</p> <p>ア 朝学習での実践 現在の朝学習の在り方を工夫したり、新しい内容を考える。学習材（読書、視写、ドリル）を企画、構成する。</p> <p>イ 選択教科での実践 基礎的・基本的な内容の徹底のために、厳選された必修教科の学習内容を補充する学習として、さらに充実させていく。</p> <p>ウ 補充的な学習での実践 3年生の進路保障のために、12月から週に2回（火曜日と金曜日）補充的な学習を行い、改善して充実したものにする。</p> <p>(2) 確かな学力を身に付けさせるための授業実践</p> <p>ア 「学習の手引き」の改善 それぞれの教科で作成した「学習の手引き」を活用し、よりよいものに改善していく。</p> <p>イ 教材の工夫・開発 各教科で、生徒一人一人の習熟の程度に応じることのできる学習材の工夫開発を進めていく。</p> <p>ウ 指導法の工夫 少人数指導の長所を生かすことのできる学習形態や指導法の工夫開発、各教科で、自ら学び考えようとする意欲を持って学習に取り組む指導法の研究を進め、よりよいものに改善していく。</p> <p>エ 評価の工夫 評価の観点や規準、評価の手立てや実施時期等を明確にして実践し、よりよいものに改善していく。</p> <p>(3) 学校、保護者、地域とが連携した学校教育改善を図る研究の推進</p> <p>ア 学校通信を利用した地域、保護者への啓発 学校通信などを利用し、学校での取り組みや生徒の変容状況などを地域や家庭に知らせ、啓発する。</p> <p>イ 授業評価の実施 授業評価ができるアンケートを作成し、参観日などを利用して実施していく。そして、データ化するなどして、授業を進める参考資料とする。</p>
--------------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

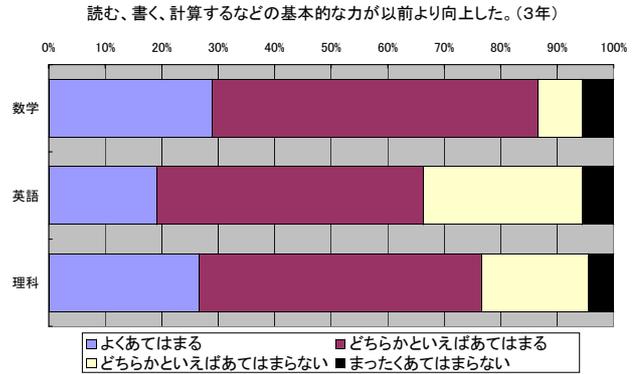
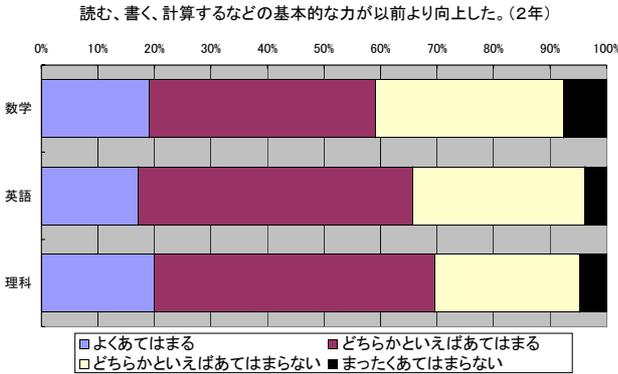
1 研究成果

- (1) 朝学習により、学習にじっくり取り組む姿勢が身に付いてきている。
- (2) 学習の手引きを作成し、生徒に到達目標を示すことで、学習意欲を高めることができた。
- (3) コース別学習を実施することにより、教科の学習が好きになったと答える生徒が多い。個人差に応じた学習やきめ細かな指導が図られている成果だと思われる。

- (4) 学習に関するアンケートを実施したところ、研究実践のねらいの1つでもある「基礎・基本の確実な定着」に少しは迫れたように感じられる。これは、各教科での教材の工夫や指導法の工夫が、生徒の学習に対する意欲や学力の向上につながったものと思われる。
- (5) 研修会を定期的で開催するなどして、教師の力量を高めることができた。

(図1)

(図2)



2 今後の課題

- (1) 基礎学力が十分身に付いていない生徒もいる。学習意欲を高める朝学習の在り方や図1、図2のデータを継続して蓄積するなどして、「基礎・基本の確実な定着」を図る教材の工夫や指導法の工夫を検討していきたい。
- (2) 学習の手引きが確かな学力の向上に直結したとは言い難い。学習の手引きや評価の在り方について研修を深めたい。
- (3) 習熟度別学習においては、基礎基本が十分身に付いていない生徒に対して、個に応じた指導ができたとは言い難い。コース間の学習進度の仕方や学力の実態を把握する方法をさらに工夫して、個に応じた教材や指導法の研究を進めていきたい。
- (4) 地域、保護者との連携や啓発を十分に行うことができなかった。学校の取組に対するアンケートを実施するなどして、学校経営や教員の資質の向上などに活かしていきたい。また、実践したことや生徒の変容を通信などで伝えいきたい。

(資料1)

学力把握のための学校としての取組

生徒を対象とした学習に関する意識調査の実施

・調査の目的

生徒が学習に対して、どのように意識して取り組んでいるか把握し、教師が授業を進める中で参考にする。そして、教材の開発や工夫、指導法の工夫に役立てる。

・実施内容(資料1)

・実施時期

各学期の終わり

学習に関するアンケート

このアンケートは、生徒のみなさんが、学習に対してどのように意識して取り組んでいるか把握し、授業を進める上で参考にしたいと考え行うものです。成績にはまったく関係ありませんので、正直に答えてください。なお、文をよく読んで、あなたにあてはまるものを選び、で囲んでください。

何年生ですか。
教科は何ですか。
何コースですか。

1. 2年生 2. 3年生
1. 数学 2. 英語 3. 理科
数学 (GOAL ・ START)
英語 (Advance ・ Basic)

少人数で行う学習についてお聞きします。

- 勉強の内容がよくわかるようになった。 [2 3 4]
- 進んで手を挙げ、発表するようになった。 [2 3 4]
- 読む、書く、計算するなどの基本的な力が以前より向上した。 [2 3 4]
- 見通しを立てて学習問題を解決するようになった。 [2 3 4]
- 教科の知識が身に付いてきていると思う。 [2 3 4]
- 少人数で学習することで、その教科が好きになってきている。 [2 3 4]
- 学習しているコースは、自分にあっている。 [2 3 4]

「 」で、「まったくあてはまらない」を選んだ人は、その理由を書いてください。

学校や家庭での学習への取り組みについてお聞きします。

- わからないことは、進んで質問している。 [2 3 4]
- 難しい問題にも進んで挑戦している。 [2 3 4]
- テストでできなかった問題をあとで確かめている。 [2 3 4]
- 興味や関心のあることは、進んで調べている。 [2 3 4]
- 学習用具は、忘れずに持ってきている。 [2 3 4]
- 宿題は忘れずにやってくる。 [2 3 4]
- 宿題がなくても進んで予習や復習をしている。 [2 3 4]

学習していることに関しての要望や質問がありましたら書いてください。

- 1 よくあてはまる 2 どちらかといえばあてはまる
3 どちらかといえばあてはまらない 4 まったくあてはまらない

【ご協力ありがとうございました】

- フロンティアスクールとしての研究成果の普及
- 1 学力向上フロンティア事業八幡浜管内地区協議会
 - (1) 目的
児童生徒1人1人の実態に応じたきめ細かな指導に関する実践研究を推進するフロンティアスクールの研究成果を、域内のすべての小・中学校に普及を図るため
 - (2) 対象
八幡浜管内地区学力向上フロンティア事業地区協議会委員
 - (3) 日時・場所
・第1回 平成15年6月20日(金)八幡浜市立千丈小学校
・第2回 平成15年11月17日(月)大洲市立大洲南中学校
・第3回 平成16年1月19日(月)八幡浜地方局
 - 2 フロンティアスクール研修会
 - (1) 目的
学力向上フロンティアスクールとして取り組むべき方向性の確認と教員の研究実践への意識の高揚を図るため
 - (2) 対象
大洲市内の各小・中学校の教員、及び八幡浜市のフロンティアスクールの教員
 - (3) 日時・場所
平成15年8月4日(月)大洲市中央公民館3F大ホール
 - 3 学力向上フロンティア事業研究指定校公開授業
 - (1) 目的
児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に関する実践研究を推進する核となる学力向上フロンティアスクールとして、他の小・中学校に研究実践を普及啓発するため
 - (2) 対象
・八幡浜管内地区学力向上フロンティア事業地区協議会委員
・大洲市内の各小・中学校の教員、及び八幡浜市のフロンティアスクールの教員
 - (3) 日時・場所
平成15年11月17日(月)大洲市立大洲南中学校
 - 4 学校からの通信を利用し、家庭に研究の目的や実践例を紹介した。
 - 5 ホームページを利用した情報発信

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】     15年度からの新規校     14年度からの継続校
- 【学校規模】             3学級以下             4～6学級  
                            7～9学級             10～12学級  
                            13～15学級         16学級以上
- 【指導体制】             少人数指導             T・Tによる指導  
                            その他
- 【研究教科】             国語             社会             数学             理科  
                            外国語         音楽             美術             技術・家庭  
                            保健体育     その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】     有     無